

令和元年度第3回契約監視委員会が、令和元年12月23日(月)、労働者健康安全機構会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

令和元年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第3回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和元年12月23日(月) 9:00~9:55 開催場所: 独立行政法人 労働者健康安全機構会議室	
委員	委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 委員 東ヶ崎将(JILPT監事)(議事進行) 委員 小林伸行(JILPT監事(非常勤))	
審議対象期間	1. 令和元年9月21日~令和元年11月30日に契約締結された案件 2. 令和元年12月~令和2年3月に契約締結(予定)の案件	
1. 一般競争入札	8 件	
2. 競争性のない随意契約	0 件	
3. 一者応札・一者応募	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	☐記のとおり	下記のとおり☐
	意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。		
1. 一般競争入札案件 (令和元年9月21日~令和元年11月30日契約締結)		
【案件1】		
<資料No. 2-1「乗用自動車の調達(1台、5年メンテナンスリース)」>		
・5年リース案件で、総合評価落札方式による入札を行なったところ、同一車種を提示されたことから技術面で差はなく、価格面で差がついたとのことだが、リース終了後の残存価額設定を300万円とする場合と、200万円とする場合は、300万円で設定した業者の方が安く応札できる。リース終了後に車を買取りする際に、リース額だけではなく買取額を考慮していなければ問題がある。		・当該案件では、5年間のリース期間終了時点で、車両を業者に返却することになっており、買取りは行わない。機構側が残存価額を支払うことはない。
【案件2】		
<資料No. 2-2「Webアンケート調査『職場及び生活の環境に関する調査』の実施に係るデータ作成等業務委託」について>		
・当該案件の落札率は低い。予定価格の設定方法に問題があるのではないか。質問項目数等、過去の実績を参考に予定価格を作ったらどうか。		・今後、予定価格積算について見直してまいりたい。

意見・質問	回答
【案件3】	
<p>＜資料No. 2-4「令和元年度上石神井事務所施設整備改修工事（3階空調機更新工事及び2～5階LED照明設備改修工事）」の実施＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・当該案件は2者の応札があり、その内の1者が入れた札には「辞退」と明記されていたとのことだが、当日、一度目の入札で「辞退札」を入れた者は辞退者に含まれ、1者応札とすべき。厚労省等に同様案件の取扱いについて確認を要する。 ・入札説明書の11.入札の無効には「入札金額のない入札書は『無効』」となる旨の記載があり、辞退札は『無効』になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該案件のように1回目の開札時に「辞退札」がある場合については、厚労省等での取扱いを調査・確認し判断したい。
<p>2. 随意契約案件 (令和元年9月21日～令和元年11月30日契約締結)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・該当案件はなし。
<p>3. 一者応札・一者応募案件 (令和元年9月21日～令和元年11月30日契約締結)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・該当案件はなし。
<p>4. 契約事前点検(令和元年12月～令和2年3月予定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特段の意見等はなし。